

季刊

HAMAKAZE

はまかせ



国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

Hamanomachi Hospital

2011 第44号
APL.



新病院パース(南ファサード)

理念

「病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します」

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

c o n t e n t s

- 新病院建設安全祈願祭 安井 久喬・田中 謙二
- 専門の立場から「消化器外科の20年 Big incisionからmiminallyへ」..... 許斐 裕之
- TQM活動 大城戸政行
- 浜の町がんサロンのご紹介 吉住 朋子
- 地域医療連携課だより 地域医療連携課
- 外来診療担当医一覧

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区舞鶴3丁目5-27 TEL092・721・0831 FAX092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>

新病院建設安全祈願祭

院長挨拶

本日はご多用中、当院の新築安全祈願祭にご来駕いただき真にありがとうございます。

浜の町病院は、昭和26年の開院以来、高度の医療を提供する急性期病院として福岡市民の厚い信頼を集めてまいりました。現在すでに建築後45～50年になろうとしています。老朽と狭隘の不利の中で、多くの患者さんを集め、堅調な経営を維持できてきましたのは、一重に諸先輩の築かれた先取・向上の意欲と患者さんを大切にする優れた病院の文化と、優秀な医療スタッフの力によるものであります。

しかしながら、医学の進歩により開発された診断、治療機器の新たな導入と応用、患者さんのより豊かなアメニティー、居住スペースへの要求に応えることは、これ以上困難であると考えに至りました。

2004年、老朽化した浜の町病院を何処にどう建て替えるかという課題に着手し、6箇所の候補地を対象に適地比較検討し、最終的に当地としました。本部の了解のもとに、病院の将来像を具体化する作業に入ったのが2008年初めであります。基本理念として、大災害においても十分機能する病院であること、そのために免震構造とするとともに、高潮、津波に対しても配慮した設計としております。また大災害時において、多くの患者さんを収容できるように、講堂に酸素、吸引等のパイピングを設置し、市民の安全、安心に供することといたしました。

新病院は少なくとも築後50年以上は、福岡市、ひいては吾国の医療をリードし続ける高い目標のもとに設計されております。病院が専門特科する傾向ですが、当院は地域医療支援病院、福岡県がん診療拠点病院として、すべての疾患に対処できる総合病院を維持します。内科全科の発展はもとより、外科、産婦人科、整形外科などあらゆる外科手術における内視鏡手術、低侵襲化をますます充実発展させます。さらに今までになかった超微小外科技術を駆使する形成外科を新たに導入し、欠損部補填・修復やリンパ浮腫治療への道を開きます。これは病院関係全スタッフが積極的に参画し、発言し、議論した結果ではありますが、ここに協力を感謝します。

本事業の立案、行動計画、用地選定など真に多くの方々のご指導とご助力を頂戴致しました。ここに

深く感謝申し上げます。プロジェクトコーディネイト、建築基本設計の実務において、株式会社アービカルネットの尽力を得ました。そして、病院建築において実績と造詣の深い広島国際大学久保田秀男教授に建築計画設計のアドバイスをお願いしました。梓設計様には周到な実施設計を頂き、引き続き設計管理をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。西松建設様、きんでん様、三機工業様におかれましてはこれから工事をやっていただきますが、近隣の方々にご迷惑をかけないように十分に注意して最後まで安全をお願いいたします。またご近所の方々におかれましては工事車両の出入りや、騒音などで大変ご迷惑をおかけすることと存じますが、何卒ご理解のうえ、お許しいただきたくお願い申し上げます。工事の安全と新病院の無事完成を祈り、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

平成23年3月23日

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院 院長 安井 久喬

● 病院建設の進捗状況

病院職員が一日千秋の思いで待ちこがれていました新病院建設がいよいよ始まりました。

3月1日から3日にかけて連合会本部において入札が行われ、病院本体工事は西松建設株式会社、電気工事は株式会社きんでん、機械工事は三機工業株式会社がそれぞれ落札いたしました。設計監理および施工管理についても引き続き株式会社梓設計が行うことに決定しました。

3月23日には連合会本部の尾原理事長も臨席される中、水鏡天満宮のご神職のご祈祷により安全祈願祭が執り行われました。水鏡天満宮はその昔、菅原道真公が太宰府に左遷され、初めて博多の地に上陸されたとき、水面に映ったご自分の憔悴した姿をみて、嘆き悲しんだことにちなんで建てられたもので、かつては現在の今泉付近にあったそうです。関ヶ原の合戦の後、筑前52万石に転封された黒田長政公が福岡城を築城された際に、城の鬼門に当たる現在の場所に移築され、九州一の繁華街天神の名前の

由来となった由緒ある神社です。

あいにくの小雨模様となりましたが、始まる前には天気も回復しました。当日の参加者は総勢 92 名でした。ちょうど寒気が南下して来て気温が下がっていたので会場となったテント内にはストーブが用意されていました。会場には新病院のパース(完成予想図)が展示され、一同期待に胸を膨らませました。報道関係者も取材に訪れ、テレビカメラで撮影する姿もみられました。私も RKB と TNC の記者から新病院の特長や規模などについて取材を受けました。

ご神職の祝詞の後、尾原理事長と安井病院長のお二方により鎌による刈初之儀かりぞめのぎが行われ、次いで株式会社梓設計杉谷社長により鍬による穿初之儀うがちぞめのぎ、最後に西松建設株式会社平田副社長が施工業者を代表して杭打之儀くいうちのぎを行いました。玉串を神前にお供えし、神事は無事終了致しました。

続く式典では、尾原理事長が近隣の住民の方々へのご協力のお願いと工事関係者へ工事の安全と病院の無事な完成を祈念する旨のご挨拶がありました。梓設計からは新病院のコンセプトや特徴などが説明され、西松建設の平田副社長からは、病院の完成に向けて全社を挙げて取り組むという並々ならぬ決意の表明がありました。最後に安井院長がここに至るまでに病院用地の選定や基本設計に協力して頂いた多くの方々への感謝の意と新病院の特徴などを話され、新病院の無事な完成を期待しているとの言葉で締めくくられました。式典は無事終了し、時節柄、直会なおり(神事後の宴会)は行わず、紅白の饅頭の配布のみとし、解散となりました。

新病院は地下 1 階、地上 10 階で免震構造を採用しています。これから地盤工事が始まりますが、現地が埋め立て地であるため、支持岩盤まで 20m 以上の杭を打つ必要があります。半年以上地下の地盤工事が予定されているため、新病院が地上に姿を現すのは一年近く先になります。そのときを職員一同心待ちにしながら今後も職務に精励して参りますが、これを読まれている読者の皆様も新病院の雄姿にどうぞご期待ください。

教育部長 田中 謙二



新病院完成予想図(北ファサード)



院長挨拶



刈初之儀

【新病院の規模等】

- 病院本館棟(468床) / 地下1階・地上10階(延床面積 38934.97 m²)。鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造(地下部)。免震構造。
- エネルギー棟 / 地下1階・地上1階(延床面積 676.74 m²)。鉄筋コンクリート造。
- 駐車場 / 自走式立体駐車場整備(約 230 台収容)。
- その他 / オール電化設備等を導入し、環境に優しい病院とします。

消化器外科の 20 年

Big incision から minimally へ

◎消化器外科部長
このみ 許斐裕之



私が医者になった 1988 年は消化器外科領域では手術による切除を拡大させ癌の根治を目指す大きな流れの只中にありました。消化器癌の拡大郭清は癌を有する臓器の周囲はもちろん隣接する臓器からリンパ流の終末の大動脈周囲までをその範囲とするような、どこまで切除できるかに挑戦していました。“Great surgeon makes big incision!” という言葉がありますが、当時は私も「Great surgeon のひとりになって big incision を置くような外科医になりたい。」と思ったものです。

その一方で 1987 年にフランスで腹腔鏡下胆嚢摘出術が世界ではじめて行なわれると、日本でも 1990 年に導入され、私自身もさっそくその年に腹腔鏡下胆嚢摘出術に参加する機会を得た後、1992 年までに術者として数例の腹腔鏡下胆嚢摘出術を行うことになったのでした。その後腹腔鏡手術は大腸や胃の切除にも応用され Minimally invasive surgery というコンセプトで急速に広がっていったのですが、これらの胆嚢摘出術以外の手技を私自身が経験したのはそれから 10 年以上経ってからでした。

1993 年以後約 10 年の間に私が携わっていたのは胆・膵の内視鏡診断および処置で、主に ERCP（内視鏡的胆道膵管造影検査）関連の十二指腸乳頭切開術や胆道ステント挿入術などの技術を学んでおりました。腹腔鏡下胆嚢摘出術とこれらの技

術を合わせると胆石に関してはほぼ全てが大きくお腹を切開することなく治療を完結することができるわけで、このころからすこしづつ Minimally invasive を目指すようになりました。また、この胆膵領域の臨床修練から派生して、胆道系に痛みを発するメカニズムや腸管の運動に関する神経生理・薬理学的な研究が当時の研究テーマとなりオーストラリアで 3 年間の留学生活を行いました。そのためには「消化管にとって低侵襲とは何か？ 正常とは何か？」ということを考えるようになりました。

留学前は腹腔鏡下手術がようやく胆嚢摘出術の標準として広がり始めた頃でしたが、大腸や胃の切除はまだ開腹術が標準手術でした。ところが 2000 年に帰国してみるとこれらの手術を鏡視下で行なうビデオの発表が盛んに報告されるようになっており、すでに標準治療として日常臨床に導入している施設までありました。これには私自身かなり驚きましたが、その後大学病院等での修練を経て遅ればせながら 2003 年に大腸切除を 2006 年に胃切除を私自身で始めました。私が当院に赴任したのは 2007 年 10 月でしたが、このころにはこの分野の鏡視下手術の技術が安定しそのメリットは Minimally invasive surgery としての体表面の傷の小ささや術後早期の回復の速さだけでなく、「鏡視下の優れた視野によって可能にな

る精緻な手術操作によって高い手術精度が得られる。」という Laparoscopy enhanced surgery なるコンセプトが提唱される様になりました。私自身もまさにそこに鏡視下手術の真髄があると実感できるようになってきました (図1)。

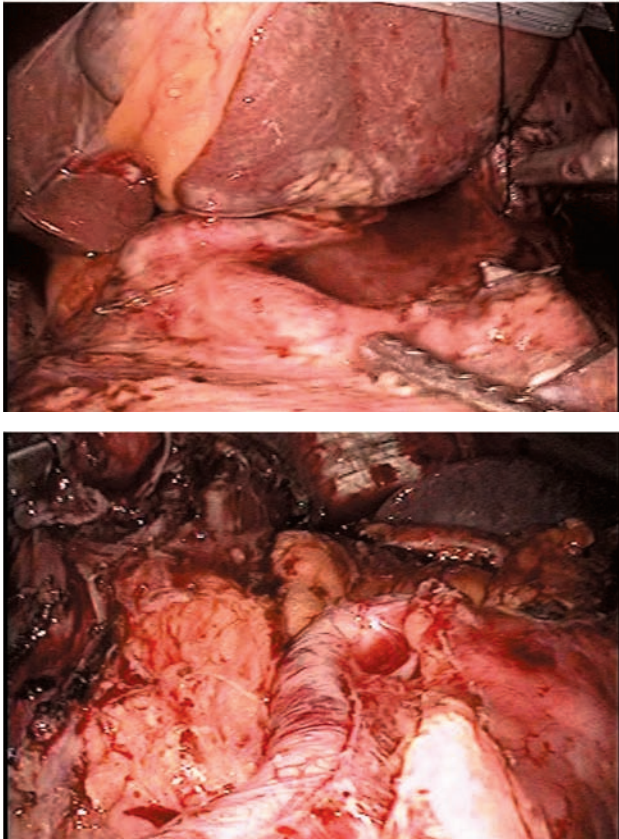


図1 鏡視下 (Laparoscopy enhanced surgery) の胃全摘上/胃はすでに摘出され食道は糸がかかり断端からチューブが出ています。脾臓上縁の肝動脈周囲のリンパ節が肝臓への流入部まで郭清されています。下/胃の背面にある脾臓上縁から背面の脾動脈周囲のリンパ節が脾臓近くまで郭清され左副腎が見えています。

この考え方をふまえて昨年 (2010年) からは消化管の手術に関しては可能な限り鏡視下で行うように適応拡大を行っております。1997年から本年3月までの胃、結腸、直腸切除手術の当院での鏡視下手術導入の状況は図2～4に示したとおりで、当院で年々鏡視下での手術が増加しており特に昨年から鏡視下手術が胃・大腸で標準化していることがわかりいただけると思います。

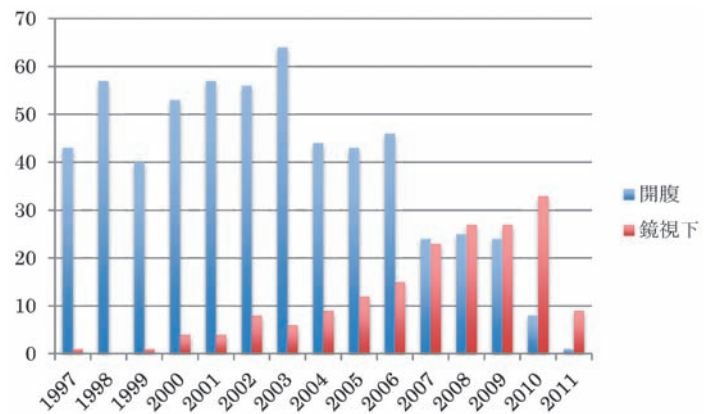


図2 胃切除 (年別・例数)

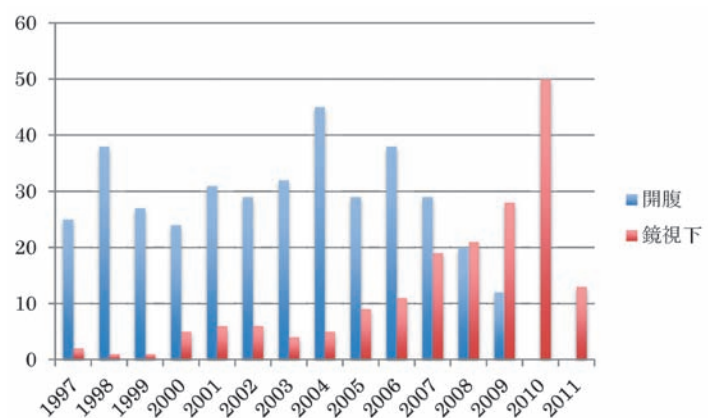


図3 結腸切除 (年別・例数)

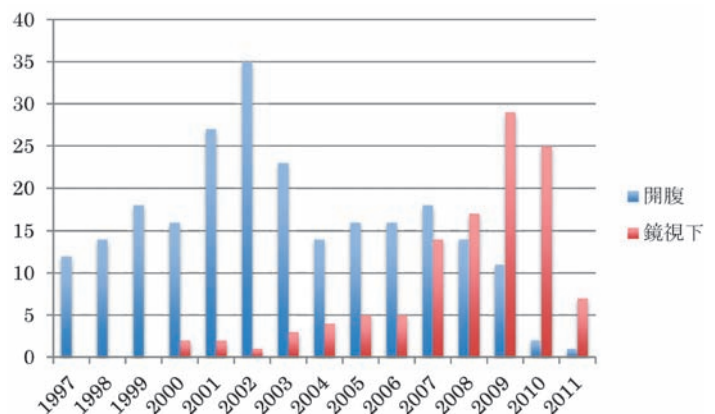


図4 直腸切除 (年別・例数)

今後も新しい時代の医療を先取りし、安全で質の高い・患者さんに満足していただける医療を提供するという当院の理念に合うように努力を続けたいと思います。

TQM活動 Total Quality Management

(TQM 運営委員長 大城戸 政行)

去る2月26日土曜日、当院研修講堂において第一回 TQM 発表会が行われました。

TQMとはTotal Quality Managementの略で業務改善によって患者さんの為の医療の質向上を図ることを目的としたものです。人材育成研究所、立川講師ご指導のもと7月、9月、12月に研修会、ヒアリングを行い半年間の活動を経て成果を発表する機会を設けました。当日は枚方市民病院、新小倉病院の最優秀チーム、新別府病院、…などの来賓をお招きして和やかな雰囲気でも盛り上がった中、業務改善・接客・安全対策・連携・チームワークなどの内容の発表

があり、別館三階病棟（栄養課・血液内科チーム）が最優秀賞を獲得しました。審査員からも初めての会にしてはプレゼンが素晴らしくコラボレーションに富み、改善が患者さん中心の目線から行われているとの高い評価をいただきました。これを機会に働きやすい風通しのいい職場作り、現場での問題解決能力を養うことにより業務改善が進むことを期待しています。平成23年度も7月にTQM研修会、2月に研究成果の発表会を行う予定ですので、興味のあるクリニック、病院管理者の先生方がおられましたらどうぞご参加ください。

浜の町がんサロンのご紹介

(臨床心理士 吉住 朋子)

昨年11月より、当院に通院中・入院中もしくは以前当院を受診していたことのあるがん患者さんを対象に、がん看護専門看護師と臨床心理士が中心となって「浜の町がんサロン」を始めました。

「同じ悩みを持つ仲間がほしい」「不安や悩みを話したい」「こんな時、他の人はどうしているのだろうか？」など、日頃思っていることをサロンで話してみませんか？

これまで6回開催しており、「現在の治療のこと」、「再発の不安」、「社会に戻った時



に周りの健康な人達との差が気になるということ（容姿や体力の変化等）」、「病気になる前にはいかにいまでも今の状況なりの楽しみ・生きがいを見つけることの大切さ」等が話題にのぼることが自然と多くなっています。

参加された方からは「家族や友人、医療者にも分かってもらえているようで分かってもらえない部分があったが、当事者だからこそ分かり合える部分を今日はたくさん話すことができ、胸がスツとした」等の感想が聞かれました。

参加者や出てくる話題というのは毎回違います



ので、どういう雰囲気になるのかはその時々で違います。医療者からの助言をする場というよりは、参加された方一人一人がそれぞれの体験を語り合う場として、私達もみなさんのお話を大切に聴いていきたいと考えています。

毎月行っていますので、ご自分の体調・気持ちとご相談の上、無理のない範囲でお気軽にご参加ください。お待ちしております。

毎月第2木曜日（14：00～15：30）

参加は無料（申込不要）

別館1階「健康医学センター」に直接お越しください。

対象は当院に通院中・入院中・以前かかっていたがん患者の方。

詳しくは 臨床心理士・吉住（がん相談支援センター TEL 092-721-9991）までお気軽にお問い合わせください。

連携課だより PRESS

登録医から一言

医療法人森和会 赤坂おけだ内科クリニック

院長 桶田 俊光

〒810-0023 福岡市中央区警固2丁目17-23

TEL : 092-791-7861 FAX : 092-791-7862



昨年の10月1日に、けやき通りに「赤坂おけだ内科クリニック」を開業いたしました。よろしくお願ひします。開業第一日に糖尿病の足病変の方が当クリニックを受診され、早速、浜の町病院に紹介し、大変お世話になりました。誠に有難うございます。

当クリニックは、医療法人森和会行橋中央病院のサテライトのクリニックとして創立しました。一般



玄関

内科疾患、糖尿病、内分泌代謝疾患を診療しますが、主に糖尿病診療を中心に行うクリニックを目指しています。

今まで、九大病院、大分大学医学部附属病院、新小倉病院糖尿病センターで長年に渡り、糖尿病外来で診療を行ってきました。この経験を生かして、当クリニックのスタッフと一緒に糖尿病を持っておられる方が健康で長生きされるためのお手伝いができるように努力したいと思っています。



クリニック内



フットケア室

糖尿病診療では、合併症に関して他科との連携なくして診療は出来ません。近隣の診療所、総合病院である浜の町病院の先生方には大変お世話になることと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

浜の町病院の今後益々のご発展をお祈りいたします。



この度の東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様、並びにご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

■ 救急患者紹介連絡先 月～金 (8:30～17:15)

Tel 092-721-9913 (連携課直通)

Fax 0120-721-991 (連携課直通)

上記以外の時間及び土日祝

Tel 092-721-0831 (病院代表)

(平成23年4月18日現在)

| 診療科 | 時間 | 専門 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | | |
|---|----|---------|-----------------------|------------------------------|-----------------------|------------------------------|------------------------------|--------------|----------------------|
| 救急センター | | 救急 | 廣津こう平 松尾和雅 | 廣津こう平 松尾和雅 | 廣津こう平 松尾和雅 | 廣津こう平 松尾和雅 | 廣津こう平 松尾和雅 | | |
| 内科 ※腫瘍内科新患は月～金の午後 | 午前 | 総合診療 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | | |
| | | 血液新患 | 衛藤徹也 | 齋藤統之 | 衛藤徹也 | 平安山英穂 | 高瀬 謙 | | |
| | | 血液 | 高瀬 謙 | 衛藤徹也 | 平安山英穂 | 衛藤徹也 | 平安山英穂 | | |
| | | | - | 高瀬 謙 | - | - | - | | |
| | | 循環器新患 | 片岡 伸 | 白井 真 | 白井 真 | 白井 真 | 栗林祥子 | | |
| | | 循環器再来 | 栗林祥子 | - | - | 白井 真 | 白井 真 | | |
| | | 消化器 | 具嶋正樹 | 瀬尾 充 | 瀬尾 充 | 松坂紀幸 | 具嶋正樹 | | |
| | | 腫瘍 | 三ツ木健二 | 田中吏佐 | 田中吏佐 | 田中吏佐 | 三ツ木健二 | | |
| | | 肝臓 | 上野新子 | 高橋和弘 | 具嶋敏文 | 高橋和弘 | 高橋和弘 | | |
| | | 呼吸器 | 樋口和行 橋口波子 | 鶴田伸子 | - | 橋口波子 | - | | |
| | | 内分泌 | 横川 泰 | 小河一彦 | 小河一彦 | 横川 泰 | 小河一彦 | | |
| 腎臓 | - | 吉田鉄彦 | 原由紀子 | - | 吉田鉄彦 | | | | |
| 膠原 | - | - | 吉澤誠司 | 吉澤誠司 | - | | | | |
| 脳神経センター ※脳外科(月・水・金)の午後、 神経内科の午後は、紹介患者と 予約のみ | 午前 | 脳外科 | 松角宏一郎 山口慎也 | 手術 新患・紹介患者のみ (当番医) | 松角宏一郎 山口慎也 | 手術 新患・紹介患者のみ (当番医) | 松角宏一郎 荒木亨江 | | |
| | | 神経内科 | - | 佐竹真理恵 | 佐竹真理恵 | 佐竹真理恵 | 佐竹真理恵 | | |
| | 午後 | 脳外科 | 松角宏一郎 荒木亨江 | 手術 新患・紹介患者のみ (当番医) | 山口慎也 荒木亨江 | 手術 新患・紹介患者のみ (当番医) | 松角宏一郎 山口慎也 | | |
| | | | | | | | | | |
| 精神科 (要予約) | 午後 | 精神科 | - | - | 九大 | - | 九大 | | |
| 外科 | 午前 | 消化器一般 | 許斐裕之 森 瞳美 | 一宮 仁 森山大樹 | 山方伸茂 宮崎哲之 | 許斐裕之 山方 森 | 一宮 仁 森山・中山鎮秀 | | |
| | | 胸部 | - | - | 加藤雅人 | 加藤雅人 | - | | |
| | | 乳腺・甲状腺 | 大城戸・森 | 大城戸・森山 | - | 森 瞳美 | 森山大樹 | | |
| | 午後 | 乳腺・甲状腺 | - | - | - | 大城戸政行 | - | | |
| 産婦人科 ※婦人科の診療は午前のみ 産科初診のみ婦人科で受付 | 午前 | 産科 | 弓削乃利人 | 井上・田中 | 上岡・三浦 | 山本奈理 | 江頭・安永 | | |
| | | 婦人科 | 上岡陽亮 | 三浦郁子 | 井上善仁 | 江頭活子 | 井上善仁 | | |
| | | | 江頭活子 | 山本奈理 | 江頭活子 | 三浦郁子 | 上岡陽亮 | | |
| | | | 安永昌史 | 弓削乃利人 | 安永昌史 | 田中麗子 | 山本奈理 | | |
| | | | 三浦郁子 | - | 田中麗子 | - | 弓削乃利人 | | |
| 田中麗子 | - | 山本奈理 | - | - | | | | | |
| 整形外科 ※新患は紹介のみ 月・水・金は受付8:30～10:30 | 午前 | 整形外科 | 手術 紹介新患のみ (当番医) | 真島龍興 秋山武徳 松井 元 原 正光 | 手術 紹介新患のみ (当番医) | 秋山武徳 井口貴裕 崎村 陸 原 正光 | 真島龍興 松井 元 井口貴裕 崎村 陸 | | |
| | | | 泌尿器科 | 小藤秀嗣 山崎武成 | 杉本呂顕 | 小藤秀嗣 山崎武成 | 山崎(予約のみ) | 小藤秀嗣 杉本昌顕 | |
| | | | 午後 | 泌尿器科 | 小藤(予約のみ) 山崎(予約のみ) | 手術 | 小藤(予約のみ) 山崎(予約のみ) | 手術 | 小藤(予約のみ) 杉本(予約のみ) |
| | | | 小児科 | 黒木理恵 | 武本環美 | 黒木理恵 | 武本環美 | 黒木理恵 | |
| 小児科 ※第2水曜午後神経 第2・4水曜午前腎臓 第3水曜午後内分泌 第4木曜循環器は予約のみ | 午後 | 小児科 | 黒木理恵 | - | 腎臓・神経 | 循環器 | 乳幼児健診 | | |
| | | | - | - | 内分泌 | - | - | | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 耳鼻科 | 安松隆治 | 安松隆治 | 手術 | - | 安松隆治 | | |
| | | | 玉江昭裕 | 玉江昭裕 | | 玉江昭裕 | 縄手彩子 | | |
| | | | - | 縄手彩子 | | 縄手彩子 | - | | |
| 眼科 | 午前 | 眼科 | 藤本 武 | 手術 | 藤本 武 | 手術 | 藤本 武 | | |
| | | | 中須賀大二郎 | 当番医 | 中須賀大二郎 | 当番医 | 中須賀大二郎 | | |
| 皮膚科 (新患は紹介のみ) | 午前 | 皮膚科 | 幸田 太 | 幸田 太 | 幸田 太 | 幸田 太 | 幸田 太 | | |
| | | | 赤星真希 | 赤星真希 | 赤星真希 | 赤星真希 | 赤星真希 | | |
| 放射線科 | 午前 | 放射線科 | 松浦隆志 | 松浦隆志 | 松浦隆志 | - | - | | |
| | | | 田中厚生 | 田中厚生 | 田中厚生 | 田中厚生 | 田中厚生 | | |
| | | | 川波 哲 | - | 川波 哲 | 川波 哲 | 川波 哲 | | |
| | | 放射線治療外来 | 舩本博史 | 舩本博史 | 舩本博史 | 舩本博史 | 舩本博史 | | |
| 緩和ケア外来(要予約)14:00～16:00 | 午後 | 緩和ケア外来 | - | 加藤雅人 | - | 三ツ木健二 | - | | |
| 健康医学センター (要予約) | 午前 | 外来ドック | 高崎智子 | 高崎智子 | 高崎智子 | 高崎智子 | 高崎智子 | | |
| | | | 落合早苗 | 落合早苗 | 落合早苗 | 落合早苗 | 落合早苗 | | |

* 受付時間：午前 8:30～11:00 午後 1:00～2:30

● 発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会
委員長 田中 俊章